



健康のススメ

中学生ピロリ検診：尿中抗体測定と除菌



お話：近藤病院 院長 近藤秀則 さん

☎ TEL0867-44-2671

受けるんだったら今でしょ！

ピロリ菌と胃がん

ピロリ菌（以下ピロリ）が胃がんの「確実な発がん因子」と認定され、現在胃がんの約98割はピロリ感染が原因とされています。そのため、胃がん予防として除菌治療が大変注目され、平成25年2月ピロリ感染胃炎に対する除菌が保険適用となりました。

若年者の除菌

ピロリ感染は、4〜5歳までに起こり以後感染を繰り返す、その後成人での感染は少ないとされています。近年、感染率は世界的にみても減少傾向にあり、日本の中学生・高校生の感染率は、5割前後といわれています。

胃がんの一次予防として、中学2〜3年生という早い時期に除菌を行うおけば、40〜50歳になって除菌するより除菌効果（胃がん発生予防効果）が大きいと期待されます。

その他、早期除菌のメリットとして、将来にわたり、胃の健康を維持することができ、慢性活動性胃炎、萎縮性胃炎、胃・十二指腸潰瘍になる

可能性を少なくすることが期待されます。さらに、主たる感染源の根絶、すなわち将来、結婚し母親・父親になった場合、自分の子どもにもピロリを感染させる心配が無くなる、などが挙げられます。

市内中学生ピロリ検診

真庭市医師会では、真庭市と川崎医科大学と密接に連携し、平成25年8月〜9月の2カ月間ピロリ検診を実施しました。自治体が実施主体となる、全国で初めてのこの取り組みは、大変注目され新聞やテレビでも大きく取り上げられました。感染の診断や除菌に掛かる費用については、可能な限り負担の掛からない料金設定としています。また、万が一、除菌の副作用（まれに薬疹、軟便など）が発生し

た場合には、担当病院で対応する体制としています。

平成25年度実施結果

市内中学2〜3年生を対象としたピロリ検診（二次検診・尿中ピロリ抗体検査）を行いました。陽性者に二次検診（確認試験）として尿素呼吸試験を行い、両者とも陽性をピロリ感染者と判定し、希望者に対して除菌治療を行いました。受診者は317人（感染率約35割）、感染者は14人（感染率約4割）でした。感染者全員が除菌を行い、成功率は100割で副作用は軽微でした。実際に検査を受けた生徒の保護者から「ピロリ感染を

調べてもらって大変良かったし安心した」「子供が感染していることが分かり、また除菌してもらい安心した」「自分もピロリを調べてみるきっかけになって良かった」など、多くの声をいただきました。

保護者の皆さまへ

今後、未来ある子どもたちからピロリ感染を無くし、将来にわたり胃がんの発生を限りなくゼロにすることができるとピロリ検診にどうかご理解いただき、一人でも多くの生徒が、簡単にできる尿検査でピロリ感染を調べ、もし陽性の場合には除菌治療を受けることをお勧めします。

中学生のピロリ抗体検査

お知らせ

中学生の尿中ピロリ抗体検査が始まっています。

- 受診期間 9月30日(火)まで
- 対象 中学2〜3年生で、平成25年度に検査を受けていない人
- 受診費用 無料（抗体検査のみ）
詳しくは平成26年度保健だよりをご覧ください。

この検査は、尿検査によりピロリ感染の有無を判定し、感染がわかった人で希望する人には除菌治療を行うものです。この機会に、ぜひ検診を受けましょう。

問い合わせ先
健康推進課 寺沖 TEL0867-52-1050



誘引ひもに沿って成長し、20cmくらいまで大きくなります

甘くて長〜い 北房育ちの新野菜



ホクピー

お話 北部野菜生産組合
ホクピー部会代表

平田 忠さん(下菅部)



互いの成長に良い影響を与え合うものを組み合わせて育てる「コンパニオンプランツ」という栽培方法を取り入れています。ホクピーはネギやニラと一緒に栽培。もちろんネギなども出荷できるので、まさに一石二鳥です。

見た目は大きな青トウガラシといった感じですが、その正体は甘くて長いピーマン。北房で何か新しい特産品を作れないかと、栽培を始めたのが7年前でした。ホクピーというかわいらしい名前は、北房のピーマンだからという簡単な理由で付けました。3戸の農家から始まり、今では15戸が約30㎡で栽培しています。栽培は比較的簡単ですが、トウガラシがルーツというだけあって、水分と肥料が不足すると辛味成分のカプサイシンが出ることもあり、その点には十分注意して栽培しています。

このホクピーの特徴はやっぱり甘さと柔らかさで、ピーマンが苦手な人にもお勧め。生はもちろん素焼きや天ぷらにして食べてもいいです。旬の季節はこれからで、7月から霜が降りる10月くらいまで市南部の直売所や農協などに出荷します。また、大阪府高槻市の真庭市場にも並び、高槻市内のホテルや飲食店とも取り引きがあります。とはいっても認知度はまだまだ。皆さんに知っていたために、北房の直売所や真庭市場での試食販売も計画しているところです。これから少しずつでも仲間を増やし、自慢の特産品に育てていきたいです。